

公益社団法人日本新体操連盟

令和2年度第3回理事会議事録

1. 会議名： 令和2年度第3回理事会
2. 日時： 令和3年3月1日（月）17時00分～18時55分
3. 場所： Web会議
4. 構成員現在数： 15名
5. 出席役員： 石崎 朔子（副会長）熊谷 正儀（副会長）関田史保子（副会長）
池田真喜子（専務理事）渡辺 守成（常務理事）秋山エリカ（理事）
崇島 慎一（理事）谷口 裕代（理事）橋本 千波（理事）
村田 愛子（理事）守永 直人（理事）
以上11名
6. 欠席役員： 二木 英徳（会長）山崎 浩子（常務理事）谷原 誠（理事）
宮嶋 泰子（理事）小島浩二郎（監事）
以上5名
7. 議案：
報告事項
報告事項1 借入金報告（定款第35条関連事項）
報告事項2 第23回全日本新体操チャイルド選手権報告（定款第4条関連事項）
決議事項
第1号議案 事務所移転について（定款第2条関連事項）
第2号議案 令和元年度第1回総会について（定款第4章関連事項）
第3号議案 その他
8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

二木英徳会長が欠席のため、石崎朔子副会長が議長をつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

石崎朔子副会長、熊谷正儀副会長、関田史保子副会長にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第31条の定めにより、理事会出席者数が11名であることが守永直人理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

チャイルド選手権がオンラインで終了できた。令和2年度の総会がメインテーマとなる。

(5) 議決事項

第1号議案 事務局移転について（定款第2条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子専務理事を指名し、池田専務は下記内容の説明を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響により、本連盟の収入が大きく減ったため、経費削減の一環として、事務局を令和3年3月2日をもって移転したい。

住所は 〒107-0062 東京都港区南青山三丁目1番3号に移転となる。

以上の後、第1号議案「事務局移転について」は全会一致で承認可決された。

報告事項1 借入金報告について（定款第35条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子専務理事を指名し、池田専務は下記内容の説明を行った。

前回の理事会において、修正予算の決議を行わせていただいたが、その際に計画に入っていた借入の申し込みを行った。その結果、日本政策金融公庫より、4000万円の借入となった。

（質疑・意見）

特に質疑・意見はなかった。

報告事項2 第23回全日本新体操チャイルド選手権について（定款第4条関連事項）
議長は説明者として池田真喜子専務理事を指名し、池田専務は下記内容の説明を行った。

緊急事態宣言の影響により、急きょオンライン開催として開催することとなった。より本番に近い環境でとのことで、ライブ演技と録画演技となった。守永から報告させる。

守永理事 当初エントリーより8割が参加した。ライブ演技が8%、録画演技が92%、マット有が39%、マット無しが61%となった。進行についてうまくいった方であったと思う。

緊急事態宣言の影響により体育館を借りることが不便で、多く参加者が録画での参加となった。上手くオンラインでつながる人と、つなげない人の差が大きかった。通信環境、パソコン能力等の性能差もあった。演技についても環境があまりにも差があり競技会としての開催には、かなり条件を指定しなければいけないと感じた。それをクリアできるクラブとできないクラブが出てくるのが想定される。

利用システムは「Teams」を利用したが問題なく利用できた。また通信環境もモバイルWifiでの開催となったがこちらも問題なかった。

スタッフは1つのカテゴリーにつき、3名で対応した。もし余裕があるのであれば、もう1名追加しても良かった。ただし、この対応ができたことはスタッフの質によるところもある。92%が録画再生となったため、今後オンラインで行う場合は事前に録画を集めて、上位者にて決勝大会を行うこともできるかと思った。

村田理事 参加者から感謝が多かった。環境が違いすぎる。映像の差が大きかった。公平性には欠ける。撮影技術も問題があった。撮影技術を教えることも必要かもしれない。賞を事前に決めていても良かった。

池田専務 映像が上手にとれていないことや、オンラインにうまくつなげない方が多かった。スタッフはよくやっていた。事前に撮影マニュアルを作っても良いのかもと思った。参加者もパソコン能力の向上が必要かと思った。

藤原理事 キッズコンテストで参加した。勉強になった。スタッフが非常によくやっていた。コメントを書いたが、言葉が出てこなかった。たくさんメッセージがあった方が喜ぶかと思った。

池田専務 評価表は現物を返して子供たちは喜んでいる。

石崎副会長 やってこそわかることがある。うまくいかないことがあったが、次に進む必要がある。小さく映っている人から、上手に映っている人まで色々いた。選手の条件が大きく違っていた。技術を向上させて、このようなことも考えていければよい。

（質疑・意見）

特に質疑・意見はなかった。

第2号議案 令和2年度第2回総会について（定款第4章関連事項）
議長は説明者として池田真喜子専務理事を指名し、池田専務は下記内容の説明を行った。

1. 事業計画総会を令和3年3月15日にWeb会議で開催予定。令和3年度の事業計画を決議
いただく総会内容を決議したい。

2. 年間スケジュールについて

現状通常通りの開催を予定している。

6月18～20日 全日本新体操クラブ選手権

8月12～15日 全日本新体操クラブ団体選手権

10月25～31日 世界新体操選手権

3月4～6日 全日本新体操チャイルド選手権

3. 全日本新体操クラブ選手権について

6月開催予定なので、締め切りを4月30日としたい。

開催については早めにはっきりしてほしいとの意見があった。体育館でやる場合と、オンラインでの開催の場合と掲示した。締め切り時には動画も提出してもらう形をとっている。

決勝だけ大会会場でやるか、ライブ演技映像で演技をするか検討している。

2カ月前位にはオンライン、ライブの判断を行いたい。

4. 全日本新体操クラブ団体選手権について

締切を6月末とし、同じく締め切りと同時に動画提出をお願いしたい。

5. 全日本新体操チャイルド選手権について

同じく締め切りと同時に動画提出をお願いしたい。決勝を35人進出としているが、予選結果と大きく変わらないこともあり、15人進出と変更したい。

6. セミナーについて

チャイルド選手権でパソコン能力に差があったことが分かった。オンライン大会用セミナーの開催を計画したい。

(質疑・意見)

関田副会長 オンラインでやることは今後のため良い。締め切り2カ月前の動画提出は開催日の2カ月前の演技となる。できれば動画提出はギリギリが良い。

池田専務 オンラインでやっていく方式をチャイルドでやったが、事前に動画を集めることができれば、審判も多くの方に自宅から参加いただける。動画を並べなおす時間も必要なので、せめて1カ月ほしい。

谷口理事 指導者側も勉強しないといけないことがあった。ギリギリが良いが、キリがない。せめて2週間前にしてほしい。採点日を後ろに回しても良いのではないか？

守永理事 クラブ選手権と団体選手権は全日本への出場権がかかっている。全日本のお出場権はオンラインで決めることができるのか疑問。もし出場権は同じ条件が必要であれば、体育館の抑えている日程内でやらないとできない。

石崎副会長 オンラインでの判断は難しいと思う。

村田理事 2部リーグは映像でも大丈夫かと思う。細かいところは対面でやらないと難しいと思う。会場が望ましい。早めに言えば準備は大丈夫。

池田専務 1部リーグ進出の確認もエントリー時に行う。早めに連絡が必要。

谷口理事 2部リーグと1部リーグの条件を変えるのは問題ないと思う。ある程度自分たちのレベルはわかっているから対応は可能だと思う。

池田専務 エントリーにて1部進出希望を確認する。演技動画を先に送ってもらう形としたい。なるべく気持ちにこたえてあげたい。映像セミナーを実施し動画のレベルも上げたい。締め切りを4月30日、動画締め切りを5月10日としたい。通常開催が難しい場合オンライン、決勝は現場開催としたい。

石崎副会長 自宅から審判が採点できるとは？

池田専務 2部リーグが録画なら、審判が自宅から採点できる。1部に出る人はマットを必須で録画としたい。

石崎副会長 チャイルド方式の審判は集まった方が良くかと思った。

池田専務 今回と同じような場合は、全国から集まりづらい。

村田理事 同じ画面を見た方が公平かと思うが、人数がいつも足りないの自宅からも考えても良いかもしれない。コロナ対応として審判数を変えた形も可能かと思う。皆

一斉が良いかと思う。

渡辺常務理事 大会はリアルが一番。リアルとバーチャルとコンテストがある。条件によって検討が必要。2部はコンテスト、1部はリアル、バーチャルなどあるべき姿を求めて、仕訳が必要。

池田専務 2部は動画を送ってもらう。1部は大会会場で演技を予定。審判構成は今後の課題、審判は集まっていたく形としたい。クラブ団体選手権はどうするか？

守永理事 現状、徒手競技は1回で結果、ジュニアも同様、シニアは予選で1種目、決勝1種目での総合で順位を決める方式。

石崎副会長 去年のクラブ団体選手権の開催方式を採用してはどうか

守永理事 去年の大会は、メインアリーナを練習会場、サブアリーナを本番会場とした。

石崎副会長 よくできていたので、それでよいかと思う。

池田専務 それができないときはどうするか。

石崎副会長 クラブ選手権と同様ではどうか。

守永理事 ジュニアも全日本ジュニアの権利がある。

谷口理事 ジュニアも決勝をやった方が良い。

守永理事 シニアと同様で決勝方式はできる。

池田専務 決勝種目は？

村田理事 決勝も同じ種目で、総合点で競う。

関田副会長 全日本は現場でやった方が良い。

村田理事 去年の大会では決勝に進む際に問題があった。

守永理事 決勝進出数を増やしてほしいとの依頼があった。理由は決勝進出8チームの中のほとんどが全日本資格を持っている可能性があったための要望。

村田理事 高校生がクラブチーム名で出てきているのが根本的な問題。

池田専務 登録では案内している。

石崎副会長 はっきりしないといけないのでは。

谷口理事 高校生はそのような状況が多い。

池田専務 個別でわかれば、伝えることができる。事務局サイドではわからない。

村田理事 明確な規定を作ってはどうか。大学生には厳しかった。

池田専務 大会要項では記載を行っている。

秋山理事 学校教育では、部活を長時間するという指針が出ている。何時から何時は部活、それ以降はクラブで練習している。

崇島理事 大学生だけに厳しいのを除き、高校生に合わせてはどうか？

池田専務 大学は寄せ集めになるという理由がある。

石崎副会長 同メンバーの人はダメとはっきりすればよいのでは。

守永理事 別大会に出ている人はダメとすることはできる。

石崎副会長 2軍3軍は出てきても良い。同じメンバーがまずい。

村田理事 強く言ってもらって、モラルに任せるしかないのかな。

守永理事 全日本出場権にかかる大会へ出場するもしくはした選手は、クラブ団体選手権に出られませんとすることはできる。

池田専務 クラブの選手のための大会との認識。厳しくするか、注意程度か、

渡辺常務理事 この問題は付きまとう。民間クラブの気持ちを大事にしたのがこの連盟。総会で聞いたら良い。本体は従来の方針を貫くのが良いのでは。

池田専務 チャイルド選手権も他大会と同様にやっていきたい。通常大会できない場合はオンライン。

村田理事 できれば決勝は対面が良い。

谷口理事 同意見。決勝は少人数にするのであれば、対面が良い。種目はロープがなしにしてはどうか。

渡辺常務理事 シニアに合わせて4種目にした方が良い

池田専務 3・4年は予選ボールと決勝クラブ。5・6年は予選フープ・決勝リボンで良いか。

村田理事 決勝は15人にしてしまうと、多くのクラブが予選だけの種目しかやらなくなると思う。20人にしたらどうか

渡辺常務理事 現場が20なら20人したらどうか？
石崎副会長 20で良いと思う。35は確かに多いと思った。決勝は体育館でやってほしい。
谷口理事 全大会、決勝は会場で。
守永理事 緊急事態宣言下でもそれでよいか？
崇島理事 ワクチン等できてきているので少人数ならそれでよい。
池田専務 オンライン用のセミナーを開催したい。
石崎副会長 現場に来てもらってやってもらったらどうか。
渡辺常務理事 藤原さんにやってもらった方がよい。システムがある。
藤原理事 カーソルを動かすソフトがある。
守永理事 1対1になるのであれば、費用を上げたい。
藤原理事 ビデオを作り、わからない人に対応が良いのでは

5. 令和3年度収支予算について

池田専務 4月からの予算書。登録数は減ってくるものとみている。イオンカップは開催しないが、代わりに世界新体操選手権が開催される。事業費支出を222,979,000円とし、管理費を14,318,000円。計を237,297,000円としている。前年度の繰り越しを世界新体操クラブ選手権の特定準備資金としている。

渡辺常務理事 借入金限度額7000万はない。

守永理事 日本政策金融公庫から借り入れるために記載している費用。

石崎副会長 今期の収支予想はどうか？

池田専務 基本金の取り崩しを行っているので、大丈夫。

渡辺常務理事 BSはそうだが、当期としては1400万は赤字ということか？

池田専務 その通り。

以上の後、第2号議案「令和2年度第2回総会について」は3月15日オンラインにて開催すること。事業計画では、通常開催とオンライン開催の併記をして案内し、オンライン開催の場合でも、決勝は大会会場にて開催することとし、全会一致で承認可決された。

第3号議案「その他」について

議長はその他について、議場に諮ったが発議、意見はなかった。

(6) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事、監事及び指名議事録署名人は次に記名押印する。

令和3年3月1日

公益社団法人 日本新体操連盟 令和2年度第3回理事会

議事録署名人 石 崎 朔 子

議事録署名人 熊 谷 正 儀

議事録署名人 関 田 史保子

議事録署名人 池 田 真喜子

議事録署名人 渡 辺 守 成

議事録署名人 秋 山 エリカ

議事録署名人 崇 島 慎 一

議事録署名人 谷 口 裕 代

議事録署名人 橋 本 千 波

議事録署名人 村 田 愛 子

議事録署名人 守 永 直 人